学校番号	３２２

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次（普通科）
使用教科書	東京書籍「書道Ⅱ」（書Ⅰ　７０１）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰの内容からさらに幅を広げた古典を鑑賞し、特徴を理解させて創作へとさせる。前半は臨書が中心となり、表現の多様性を知ったうえで書への興味・関心を高め、自身の創作滑動へと発展させていく。書の創造的な諸活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書の伝統と文化と深くかかわる資質・能力を育成する。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身につけ表している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	行書の復習と発展	臨書･鑑賞 行書について復習しながら発展させる。 行書 ･集王聖教序 ･蜀素帖 ･祭姪文稿	a:行書を意識して取り組み、特徴を生かして書くことができる。 b:古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 行書の字形や用筆の特徴に関心をもっている。	観察、作品提出、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
	隷書の学習	隷書 ･礼器碑 ･居延漢簡	a:隷書を意識して取り組み、特徴を生かして書くことができる。 b:古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 隷書の字形や用筆の特徴に関心をもっている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
	実用書	暑中見舞い	a:一般常識としての技能や基礎的な能力を活かして表現している。 b：基礎的能力を活かし、表現を工夫している。 c：基礎的・実用的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現活動に取り組もうとしている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度、感想文
2学期	草書の学習	草書 ･十七帖 ･書譜	a:草書を意識して取り組み、特徴を生かして書くことができる。 b:古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 草書の字形や用筆の特徴に関心をもっている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度

	仮名の学習	仮名 ・高野切第一種 ・寸松庵色紙 ・仮名の書の創作 （短冊サイズの用紙に自分の好きな短歌を選んで創作する）	a:ひらがなの単純化された筆使いを身に付け表現している。 b:仮名の用筆法や単純化されたひらがなの筆使いについて理解し表現を工夫している。 c:仮名の墨色について関心を持ち積極的に表現を高めようとしている。	観察、作品提出、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度、ワークシート
	篆書の復習と発展	臨書・鑑賞 篆書について復習しながら発展させる。 篆書 ・甲骨文 ・石鼓文	a:篆書を意識して取り組み、特徴を生かして書くことができる。 b:古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 篆書の字形や用筆の特徴に関心をもっている。	観察、作品提出、授業態度	観察、作品提出、授業態度	観察、作品提出、授業態度
	篆刻	篆刻(五分印) ・自分で選んだ漢字一文字を刻す	a：自分で選んだ漢字の篆書体を調べることを通して、篆書体に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b：篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:印材や印影の美しさを鑑賞し、その良さや美しさを味わっている。	観察、作品提出、授業態度	観察、作品提出、授業態度	観察、作品提出、授業態度、感想文
	実用書	年賀状の書き方	a:一般常識としての技能や基礎的な能力を活かして表現している。 b：基礎的能力を活かし、表現を工夫している。 c：基礎的・実用的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現活動に取り組もうとしている。	観察、作品提出、授業態度	観察、作品提出、授業態度	観察、作品提出、授業態度、感想文
3学期	漢字仮名交じりの書	文書を書く ・書道Ⅱで学んできた様々な表現方法と技法を生かして、書道Ⅱの集大成となる作品を作る。	a：創造的な書表現をするために効果的な表現の技能を余すところなく表現している。 b：様々な表現を試行錯誤しながら、表現を工夫している。 c：書道Ⅱで学習した様々な古典や技法を思い出した上で、主体的に自己表現に取り組もうとしている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度、ワークシート、感想文

	刻字	刻字 ・自分で選んだ漢字一文字を好きな書体で彫る	a:自分で選んだ漢字と彫りたい書体を調べることで、その漢字や書体に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b：彫刻刀の扱い方や着色の仕方を理解し、工夫や表現が出来ている。 c:文字や着色の美しさだけでなく、木材の良さや美しさを味わっている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度、感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度